

里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	多様な主体の連携・協働／環境教育・エコツアー（CSR・社会貢献型）
手法名	「能登里山マイスター養成プログラム」による地域活性化と人材育成
主体	金沢大学
背景(地域の課題)	能登半島では、過疎高齢化が進行し、里地里山の保全をはじめ伝統文化の伝承、地域産業の継続が困難な状況に置かれている。特に若者人口の減少が激しいため、地域リーダーの要請が喫緊の課題となっていた。
手法／方策の詳細	<p>金沢大学が中心となり、能登において地域リーダーになるための養成講座を実施。集まった人材を育成して、能登に定住してもらい様々な分野で地元で活躍してもらうような動きを作り出している。</p> <p>(1)能登半島里山里海自然学校の開設 地元自治体と連携し廃校舎を利用して、活動拠点「能登半島里山里海自然学校」を設置。常駐研究員を配置すると共に地元協力者を募り取組体制を構築。</p> <p>(2)NPO法人の設立 大学や自治体が行う事業を実際に担う団体として「NPO法人能登半島おらっちゃんの里山里海」を設立。里山保全活動の推進の他、産品販売やオーナー制度の普及、大学と連携したプロジェクトの支援を開始。</p> <p>(3)能登里山マイスター養成プログラムの実施 自然学校とNPOを基盤にしなが、能登の将来を担う若手リーダーの養成を実施。地元の若者だけでなく、大都会からの1ターン組については、現地での定住を目指しており、2年間のコースとして開設。 新たに5名のドクター保持者を常駐研究員として配置し担任制をひき、農業だけでなく受講生の様々な関心や分野に対応した研究教育活動を実施。講義のほか農林水産業の技術や野外実習を行い、それぞれの関心に基づいた卒業研究を取りまとめ、定住するところまでサポートしている。</p> <p>(4)マイスタープログラムの効果と展開 講座修了生の活動展開事例として新規就農(図1)のほか次のものがある。 ①地域資源を活かしたビジネス(図2) 在来種を活かした加工ビジネスや空き家を活かした移住交流施設の立ち上げ、地元食材を活かした菓子製造・飲食店など。 ②生業を活かした地域振興(図3) 製炭業の担い手が都市住民との交流による植林事業を展開、花き小売業者による能登サカキの産地化、醤油メーカー職員による地元大豆を使ったしょうゆ作り。</p>
手法・技術的視点	<p>全国の里地里山で課題となっている若者の人口減少に対して、地元の若者だけでなく、1ターン者をターゲットにしたリーダー養成講座を行っている。これにより地域への若者の呼び戻しと地域を活かした生業づくりの両面で効果をあげており、保全活動と地域の活性化とを相乗的に高めている点でもすぐれている。</p>

<p>実行プロセス・運営体制のイメージ</p>	<h3 style="text-align: center;">金沢大学による里地里山関連活動の経緯</h3> <div style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 自然と向き合い学ぶ「知のプラットフォーム」 </div> <p>1999.8 角間の里山自然学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した里山保全 ・児童の総合学習の支援 <p>2005.4 里山プロジェクト</p> <p>2005.12 駐村研究員制度の誕生</p> <p>2006.7 能登半島 里山里海自然学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山里海の再生と保全 ・生物多様性の調査活動 <p>2007.10 「能登里山マスター」養成プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型の農林業人材 ・60人の「マスター」養成 <p>2012.10 「能登里山里海マスター」育成プログラム</p> <p>2013.10 角間里山ゼミ</p> <p>角間里山農園プロジェクト</p> <p style="text-align: right;">キャンパスの里山を 地域連携で保全</p> <p style="text-align: center;">生物多様性と持続可能社会をキーワードに</p> <p style="text-align: center;">能登半島の先端に</p> <p style="text-align: center;">研究と交流の拠点</p>
<p>図・写真資料</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>図1</p> <h4 style="text-align: center;">修了生の活動事例：新規就農</h4> <div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>半導体メーカー社員⇒新規就農</p> <p>目標：中山間地域における農業経営 ⇒卒論で就農計画を作成後、 当農を開始(平成21年～)</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>東京より移住(元システムエンジニア)⇒新規就農</p> <p>目標：野菜(ネギ)栽培農家としての自立 ⇒地元法人での営農経験(4年)を元に個人経営 準備中。IT技術を活用し地元若手農家グル ープと連携した販売戦略を展開</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>宿泊施設支配人⇒農業関連企業へ就職</p> <p>目標：地元(珠洲市)での集落営農 ⇒農業法人で研修後、 農業法人の栽培担当を経て出身集落で就農 棚田地域の活性化事業の事務局長と農業を兼務</p> </div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>図2</p> <h4 style="text-align: center;">地域資源を活かしたビジネス</h4> <div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>在来の和からしを使った加工ビジネス</p> <p>・「川浦からし菜」を使用した「和マスタード」を商品化 ・2011年より「すずまくりエイティブファクトリー」を 設立。商品開発、イベント企画、1ターン定住支援など</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>空き家を活用した移住・交流施設の立ち上げ</p> <p>・自身の移住経験を活かし、空き家を活用した 田舎暮らし体験ツアーを企画 ・空き家の清掃をイベント化「おくりえいプロジェクト」</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>地元食材を使用した菓子製造・飲食店</p> <p>・地元産食材を使った菓子を作り、道の駅やイベントで販売 ・2011年より「小さなおうち」として開業。飲食店の開業をめざす</p> </div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>図3</p> <h4 style="text-align: center;">生業を活かした地域振興</h4> <div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>製炭業の若き担い手⇒植林事業</p> <p>・高付加価値な「お茶炭」の産地化 ・耕作放棄地を利用したクスギの植林</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>花卉小売業経営者⇒能登のサカキ産地化</p> <p>・能登5地区で出荷指導 ・市場と生産者をつなぐ役割</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>醤油メーカー職員⇒地元の大豆を使った醤油づくり</p> <p>・昔ながらの製法「もろみづくり」の復活 ・醤油づくりを介し、地元農産物振興や休耕地活用に関わる</p> </div> </div> </div> </div>
<p>参考資料</p>	<p>平成25年度里なび研修会in福井県勝山市パワーポイント資料「里山里海マスターが能登半島を元気にする！」(中村浩二)</p>